

はばたき21相談室【こころと生きかたなんでも相談 〔面談・電話・オンライン〕】【台東区】

個別事業費	1,047 千円
交付金額	481 千円

地域の実情と課題

自営業者や中小企業・小規模企業者が多く、家族従事者として働く女性の割合が、東京都の平均と比較し高いという特徴がある。女性の就業・登用・起業の機会拡大、ワークライフバランスの実現、子育て世代・介護者への相談支援の充実が課題である。

目的・目標

女性が、自らの意欲と能力をもって進路や生き方を決定できる社会の実現に向け、学校、仕事、人間関係や生活等全般にわたる悩みについて、誰もがいつでも気軽に相談できる環境を整備する。その取組の一つとして、面談・電話相談・オンライン相談について、日曜日の相談を新規に実施する。
【目標】 日曜日の相談件数 130件

事業の特徴

女性が、社会の中で悩みや問題や生きづらさを抱えるなか、カウンセラーが相談を受け、課題解決に向け支援する。従来から実施している面談・電話・オンライン相談について、就学・就業している女性がより相談しやすくなるよう、新規に日曜日の相談を実施し、現在の週4日から週5日に拡充した。

連携団体

相談主訴に応じ、東京都や他自治体の窓口を紹介。
具体例
(就労) 東京都しごと財団の就労相談
(DV) 区、東京都や他自治体の配偶者暴力相談支援センター
(虐待・暴力の相談) 子ども家庭支援センター、東京都児童相談センター、警察署
(いじめ) 教育委員会 (精神疾患・病気) 保健所
(生活困窮) 市区町村の生活保護担当 等

事業の効果

- ・日曜日の相談件数 165件 (目標達成率 127%)
これまで相談実施日はウィークデイのみだったところ、日曜日の相談日を新規開設。これにより問題を抱えているが相談に繋がらなかった方が相談支援につながる一助となる。
- ・相談件数の増加 R5年度 631件 → R6年度 848件
- ・相談実施率の増加 R5年度 69.2% → R6年度 73.9%
- ・若年層の相談割合増加 R5年度 11.7% → R6年度 14.5%

今後の課題

- ・新規開設した日曜日の利用率は66.0%と全体の利用率と比較し低い。新規開始した日曜日を含め、本相談の利用率向上に向けて、公式SNS、LINE上での周知に努めていく。
- ・若年層からの相談について、SNS(LINE)相談の32.9%に対し、14.5%と低い。また10代からの相談は1%とほとんどない。中学、高校生などに相談窓口の周知、勧奨を効果的に図り、相談ニーズのある10代の相談受皿となるよう、周知啓発に努めていく。

事業の概要

はばたき21相談室【こころと生きかたなんでも相談(面談・電話・オンライン)相談】

女性が、社会の中で悩み、問題や生きづらさを抱えるなか、いつでも相談でき、相談者が必要とする支援が受けられる事が大切である。本相談事業において、日曜日の相談日を新規開設し、就業している方なども相談しやすいよう、相談体制を整備した。

相談実績

- ・相談件数 R5年度 631 件 → R6年度 848 件 34.4%増
- ・相談利用率 R5年度 69.2% → R6年度 73.9% 4.7ポイント増
- ・若年層の割合 R5年度 11.7% → R6年度 14.5% 2.8ポイント増

日曜日の相談実績		
	件数	利用率
全体	848件	73.9%
日曜日	165件	66.0%